



第36回 中四国 精神保健福祉士大会 広島大会



大会テーマ

かかわりの再考

～ PSWの原点から
精神保健福祉士の未来を探る旅へ～

2021(令和3)年
10/23(土)24(日)

〈9:00 受付開始〉 〈9:00 受付開始〉
10:00～16:30 10:00～12:10

オン
ライン
開催 (Zoom)

※初日のみオンデマンドで
配信予定 (11月頃)



【大会特設HP】 http://www.hiroshima-psw.com/chushikoku/index_chushikoku.html

【主催】 広島県精神保健福祉士協会・第36回中四国精神保健福祉士大会実行委員会

後援：広島県/広島市/(一社)広島県医師会/(一社)広島市医師会/(一社)広島県精神保健福祉協会/(一社)広島県病院協会/広島県精神科病院協会/広島県精神神経科診療所協会/(公社)広島県看護協会/(一社)日本精神科看護協会広島県支部/(社福)広島県社会福祉協議会/(社福)広島市社会福祉協議会/(公社)広島県精神保健福祉家族会連合会/広島弁護士会/(一社)広島県作業療法士会/広島県医療ソーシャルワーカー協会/広島県臨床心理士会/(公社)広島県社会福祉士会/きょうされん広島県支部/広島県精神障害者支援事業所連絡会/(一社)広島県介護支援専門員協会/広島県精神障害者事業所職員会/(公社)広島県介護福祉士会/(一社)日本ソーシャルワーク教育学校連盟/(公社)日本精神保健福祉士協会 (順不同)



大会長挨拶

2020年、新型コロナウイルス感染症が世界中に広がりました。今まで当たり前に出ていた生活が一変し、「新しい生活様式」の名の下、マスク着用・ソーシャルディスタンス等々、今ではそれが「当たり前」となってきました。日常生活・仕事・学校・療養生活等にも影響を与え、今なお不便な生活を強いられている状況もあります。

本来は2020年11月に第36回中四国精神保健福祉士大会として広島で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により次年度に「延期」という形となり、講師をご依頼させていただいた皆様、各県協会の皆様には多大なご迷惑をおかけすることになりましたこと、この場を借りてお詫び申し上げます。

その後、広島県協会内でも検討を重ね、新しい生活様式の中での開催方法を様々な形で議論を重ね、この度の開催を迎えることとなりました。ご協力いただきました方々に改めてお礼申し上げます。

これまでにはない新しい形の中四国大会開催となりますが、参加される皆様にとって実りある機会となりますよう、実行委員一同、精一杯務めさせていただきたく所存です。

第36回 中四国精神保健福祉士大会広島大会 大会長 向井 克仁



大会趣旨

精神保健福祉士が国家資格となって20年が経過しました。年々実践の場は拡大し、加えて法制度や施策の改定等によって、精神保健福祉士に求められる役割や期待も増してきています。

これまで中四国大会広島大会では「かかわり」をテーマに据え、開催してきました。その中で、「PSWの実践」の根幹には、クライアントとの「かかわり」が存在し、日々の業務で「かかわり」を意識した実践の積み重ねが、最も大切であることを確認してきました。

しかし、法的な枠組みに組み込まれた業務の遂行が最優先される傾向が加速してしまい、その業務のみがPSWの実践として内外問わず認識されている感も否めない現状があります。先達のPSWが追い求め、築き上げ、大切にしてきた「かかわり」やアイデンティティは、国家資格化後どのように変化し、引き継がれてきているのでしょうか。専門職たる精神保健福祉士にとって、単なる世代間格差や経験年数だけでは済まされない「PSWとしてのかかわり」の認識が、継承され実践されているとは言い難い現状にあります。

私たち精神保健福祉士は業務に追われる中で、かかわりを基盤にした実践ができているのか、改めて考えていく必要があると思います。加えてこのような現状の中で「PSW」から「MHSW」への名称変更や精神保健福祉士の養成課程の再考が検討されている現在、今大会では「PSWとしてのかかわり」を再確認し、これからの精神保健福祉士として見据えていくべき未来と取り組む姿勢について再考する機会にしたいと考えています。今後、私たち自身がソーシャルワークの専門職として、精神保健福祉分野において“実践”を積み重ねていく。

そんな未来を一緒に探っていきませんか。

※既に（公社）日本精神保健福祉士協会は、英語表記を「PSW」から「MHSW」へと変更しておりますが、今大会のテーマである「かかわりの再考」にはこれまでのPSWの実践の振り返りが欠かせないものであることから今大会は表記を「PSW」で統一しております。

9:00	Zoom受付開始
9:45	開会式
10:00	<p>基調講演 「かかわりの再考」 講師：井上 牧子 氏（目白大学 人間学部人間福祉学科 教授）</p> <p>かかわり。 広島県はこの言葉と実践にこだわり続け、毎回中四国大会のテーマとしても掲げてきました。精神保健福祉士が国家資格化されて20年が経過する中で業務内容も広がりを見せ、社会的認知も進んでいます。しかしながら、いつしか「制度で定められた業務=かかわり」となってしまう感も否めないのではないのでしょうか。 基調講演では資格化前からのPSW実践を紐解きながら、改めてかかわりについて考えると共に、これからの精神保健福祉士としての実践にどう活かしていくのかを改めて考えていく機会にしたいと考えています。</p>
11:30	昼休憩
13:00	<p>シンポジウム 「かかわることと向き合い深める～仲間に向けたメッセージ～」 コーディネーター：吉川 公章 氏（愛媛県 松山東雲女子大学 特任教授） シンポジスト：小谷 尚子 氏（徳島県 徳島県立中央病院） 廣江 仁 氏（鳥取県 社会福祉法人養和会 理事長） 的場 律子 氏（山口県 医療法人社団福寿会 福永病院）</p> <p>PSWの支援はクライアントとの日々のかかわりなくしては成り立ちません。私たちは、日々の業務に追われる中でPSWのかかわりとは何か、かかわりをもつ目的は何か、なぜかかわりにこだわるのか、それを意識し、向き合い、自分自身のかかわり方を受け止めることができているのでしょうか。 今、PSWの活動の場は、時代、世相と共に多様化し、多岐に渡る幅広いフィールドの中でかかわりが展開されています。所属機関から求められる業務、立場の違いはあれど、PSWとして譲れない、なくすことのできないテーマとして、かかわりについて考え続ける必要があると思います。 本シンポジウムは、長年にわたり経験を積み重ねてこられたPSWの方々に、かかわりの原点、実践、苦悩や迷い、大切にされている言葉や価値観、後輩に伝えていきたいことなどをお話いただき、参加者ひとりひとりが、自身のかかわりと真摯に向き合い、かかわることの楽しさ、奥深さを共に体感し、未来につながる自分達のかかわりを探る時間としたいと考えます。</p>
15:00	休憩
15:30	質疑応答（※チャット機能にて質問を受け付けます。）
16:00	総括 柏木 昭 氏（公益社団法人日本精神保健福祉士協会名誉会長・聖学院大学名誉教授・聖学院大学総合研究所人間福祉スーパービジョンセンター顧問）
16:30	総括終了
17:30	オンライン懇親会
19:30	1日目終了

9:00	Zoom受付開始
9:45	オリエンテーション
10:00	<p>分科会①「PSWの倫理×広島取り組み～信用失墜行為を経験して～」 発表者：広島県精神保健福祉士協会 倫理部会</p> <p>2015年に発生した広島県精神保健福祉士協会会員による信用失墜行為を機に、当協会では再発防止に向けた取り組みを試行錯誤しながら続けています。</p> <p>PSWは他職種と比べて業務の自由度が高い特性があります。「社会人」「専門職」「生活者」のいずれかのバランスが崩れたときに、容易に倫理に反する信用失墜行為につながる危険性を持っています。</p> <p>本分科会では、PSWが自身の中に潜む危険性に気づくことや、相談しにくいことも相談ができる環境を作っていくことが、重要な課題であることを気づける場になりたいと考えます。</p>
	<p>分科会②「コロナ禍におけるPSWの実践」 話題提供者：河合 宏 氏（岡山県 医療法人梁風会 こころの医療たいようの丘ホスピタル） 武田 睦美 氏（高知県 社会福祉法人土佐あけぼの会障害福祉サービス事業所 サポートぴあ） 西川 浩司 氏（広島県 社会福祉法人尾道のぞみ会 尾道市役所健康推進課こころサポート事業担当ソーシャルワーカー）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大は私たちPSWや、私たちPSWがかかわるクライアントの日々の生活に大きな影響を与えました。それは毎年のように発生している地震や豪雨などの自然災害が与える日常生活への影響と大きな違いはないかもしれませんが、PSWとクライアントのかかわり方の変化を余儀なくされること、かかわり自体が困難となることだけでなく、感染症対策など、PSW自身も戸惑い、悩み、疲弊している現状があります。</p> <p>本分科会では近隣県の取り組みや身近な実践を学び、今自分にできることは何か、ひとりひとりが語り合うことで、私たちPSWが知恵を増やし、ちからを回復し、明日への活力になることを目的とします。</p>
	<p>分科会③「若手によるシンポジウム～葛藤・悩みを明日への力につなげよう～」 コーディネーター：河村 康平 氏（広島県 広島県西部こども家庭センター） シンポジスト：桑田 沙智 氏（広島県 医療法人正雄会 呉みどりヶ丘病院） 日比 暖華 氏（広島県 社会福祉法人桜虹会 コーヒーショップあんず） 平山 可菜 氏（広島県 医療法人社団二山会 宗近病院） 八橋 孝介 氏（広島県 医療法人比治山病院 地域生活支援センターふれあい）</p> <p>※参加対象者：経験年数6年未満のPSW</p> <p>日々の業務の中で、自分のかかわりに自信が持てないことや、人と比べること、焦りや不安など様々な想いの間でもがき苦しむことがあるのではないのでしょうか。</p> <p>振り返る時間を持たない、どうやって振り返ればよいのかわからない、自分と向き合う作業そのものがしんどいと感じることがあるかもしれません。さらにコロナ禍においては、PSW同士のつながりや支えが途絶えてしまいそうな現状があります。そんな時だからこそありのままの悩みや迷い、喜びを共有し、安心して語り合える場を設けたいと思います。</p> <p>本分科会ではPSW歴6年未満の方を対象とし、話題提供、グループワークを通じて、今の自分自身のかかわりを振り返り、言葉にする時間を設けました。自分の強みや大切にしていることに気づき、明日への一歩へつながる機会にしたいと考えます。</p> <p>— 各分科会でグループワーク（ブレイクアウトセッション）を行います —</p>
12:00	分科会終了
12:05	閉会式
12:10	大会終了



お申込み（参加登録）のご案内

- 1) 期 日／**2021年10月23日(土)～10月24日(日)**
- 2) 開催方法／オンライン開催 (Zoom)
1日目の内容のみ、後日オンデマンド配信予定です。
- 3) 参加対象者／**精神保健福祉士もしくは、関連領域の専門職
精神保健福祉士養成課程で学ばれている学生**
- 4) 参加費用／●会 員…**4,000円** ●非会員…**5,000円** ●学 生…**2,000円**
●懇親会…**4,000円** (事前に広島特撰飲食セットを送付します)

※会員とは、「都道府県精神保健福祉士協会会員」もしくは「(公社)日本精神保健福祉士協会構成員」を指します。
※「都道府県精神保健福祉士協会会員」及び「(公社)日本精神保健福祉士協会構成員」は「学生」区分での参加はできません。

5) 申込方法

お申込みは大会特設ホームページの参加登録ページ

<http://www.hiroshima-psw.com/chushikoku/application.html>

もしくは、下記QRコードよりお申込み下さい。



イベントペイ申し込みフォームからのお申込みとなります。

※申し込み入力の前に「eventpay.jp」からのメールが受信できるように設定の変更をお願いします。

2021年8月10日(火)より申込み受付を開始いたします。

6) 分科会について

2日目の分科会をご希望の分科会を入力してください。

希望者多数の場合調整させていただくことがございますのでご了承ください。

※なお、分科会③「若手シンポジウム」につきましては経験年数6年未満の方を対象とさせていただきます。

7) 懇親会を申し込みされる方は、広島特撰飲食セットを事前に送付いたしますので、 必ず受取可能な住所を登録してください。

※アルコールとノンアルコールを選択してください。※20歳未満の方へはお酒の送付はできません。

8) 申込締切日…**2021年9月17日(金)**



メールの設定について

お申し込み完了後、「36hiroshima@gmail.com」より、Zoomウェビナー、ミーティングについてのご案内メールを送信いたします。メールが受信できるように設定をお願いいたします。

※docomo、au、softbankなどのキャリアメールアドレスでの登録は、受信設定等によりメールが届かない場合がございますので、なるべくお控えいただきますようお願いいたします。



登録料について

お申込み1件につき、システム利用料として220円申し受けます。
(参加費と一緒にお支払いいただく形となります。)



お支払い方法のご案内

- 1) カード決済・コンビニ決済・ペイジー決済
- 2) 払込手数料につきましては、ご自身でご負担ください。



変更・取り消しについて

申し込み完了後のキャンセルはお受けできませんので、申し込み内容はお間違えないようご注意ください。

不参加の場合でも、抄録集の発送を行います。また1日目の内容につきましては後日オンデマンド配信の視聴が可能です。



領収証の発行について

「受付完了メール」内のURLよりダウンロード可能です。領収証の記載内容についてご希望がございましたら個別対応となりますので事務局までご連絡ください。



大会参加までの流れについて

申し込みから大会参加までの流れを大会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

懇親会のご案内

第36回

中四国精神保健福祉士大会
広島大会

●日時：2021年10月23日(土)

17:30～19:30 オンライン (Zoom) 開催

●参加費…4,000円 広島特撰飲食セット付き

★アルコール・ノンアルコールセットを選べるよ

たちまちはホームページで確認してえね!



●懇親会ホームページアドレス

[http://www.hiroshima-psw.com/
chushikoku/online_party.html](http://www.hiroshima-psw.com/chushikoku/online_party.html)

待つとるけえね～

オンライン大会参加にあたり（ご注意）

… 以下の注意事項をよくお読みになってご参加ください …



Zoom利用にあたり必要なもの

- ・スマートフォン、パソコン、タブレットなど。
※2日目にグループワークを行いますので1人1台ご準備ください。
- ・イヤホン、マイク、webカメラ（パソコンに付属していない場合ご用意ください。）
- ・参加できるネット環境（通信費はご負担願います。）



参加申し込み完了後、Zoomへの登録が必要です。

※詳しくはメールでご案内いたします。



大会に参加する際のルール

- ・本大会は「複数人での参加」はできません。お申込者本人のみ参加・視聴いただけます。
- ・本大会の録音・録画・スクリーンショット等は禁止といたします。
- ・なお、1日目の内容につきましては後日オンデマンド配信を行う予定となっております。
- ・「ネットワーク環境が安定した場所」からご参加ください。
- ・必須ではありませんが、Zoomアプリの事前インストールを推奨いたします。
- ・Zoom入室のご案内等は 36hiroshima@gmail.comよりメールを送信いたします。

大会事務局
お問合せ



第36回 中四国精神保健福祉士大会 広島大会 事務局

〒725-0012 広島県竹原市下野町650番地 医療法人社団恵宣会 竹原病院 内

TEL (0846) 22-0963 FAX (0846) 22-9675 (平日9:00～17:00) 《担当：尾川・川本・内村》

※メールでのお問合せは大会ホームページのお問合せフォームからお願いします。

(ご返答に数日かかる場合がございます。)

